

安全データシート

制定日 2008/10/24
改訂日 2023/12/4 第3版

1. 化学品及び会社情報

化学品

化学品の名称 スタートクリーン

製造者情報

会社 サラヤ株式会社
住所 大阪府大阪市東住吉区湯里2-2-8
担当部門 営業本部
電話番号 06-6797-2525
緊急時連絡番号 06-6705-1013

販売者情報

会社 共立製薬株式会社
住所 東京都千代田区九段南1-6-5
担当部門 品質保証部
電話番号 03-3264-7196
緊急時連絡番号 03-3264-7196

想定される用途及び当該用途における使用上の注意 : 食品製造施設・畜鶏舎の洗浄

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類:

健康有害性:

皮膚腐食性/刺激性: 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分2

環境有害性:

水生環境有害性 短期(急性): 区分3

GHSのラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:

皮膚刺激／重篤な眼の損傷／臓器の障害のおそれ／水生生物に有害

注意書き:

【安全対策】

- 取り扱い後、手をよく洗うこと。
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 環境への放出を避けること。

【応急処置】

- 皮膚についた場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
 - 特別な措置が必要である。(4. 応急措置を参照のこと)
 - 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
 - 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。
 - 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - 直ちに医師に連絡すること。
- 暴露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】

- 施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物、容器を自治体のルールに従い、廃棄すること。
-

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物

成分:

陰イオン界面活性剤、両性界面活性剤、水酸化カリウム、金属イオン封鎖剤

化学名または一般名:

水酸化カリウム(CAS NO,1310-58-3)5%未満含有

ジエチレングリコールモノブチルエーテル(CAS NO,112-34-5) 5%未満含有

4.応急処置

皮膚に付着した場合:

直ちに多量の水で十分に洗い流す。

液が付着した衣服や靴は直ちに脱ぐ。

手当が遅れると炎症をおこす恐れがある。

眼に入った場合:

直ちに流水で15分以上洗い流す。

その後、速やかに医師の診断を受けること。

手当が遅れると失明する恐れがある。

飲み込んだ場合:

直ちに多量の水、牛乳や生卵を飲ませる(アレルギーの場合はこの限りでない)。

無理には吐かせないで、速やかに医師の診断を受ける。

手当が遅れると生命にかかわることがある。

5.火災時の措置

適切な消火剤:

泡、粉末、炭酸ガスなど。

使ってはならない消火剤:

情報なし

特有の消火方法:

通常は燃焼しないが、万一、周辺の状況により燃焼した場合は、上記の消火剤による。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

作業時には、保護眼鏡、保護手袋等を着用し、接触を避けること。

環境に対する注意事項:

原液の環境への放出は避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

少量の場合は、布切れ等で拭き取り、大量の場合は、蓋付空容器へ回収する。

7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い:

技術的対策:

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項:

- ①作業時は必ず保護メガネ、およびゴム手袋を着用する。
- ②キャップを開けるときの液が飛び出す恐れがある。
また、移動するときは、キャップをしっかりと閉める。
緩んでいると、液が跳ねて目や皮ふにつく恐れがある。
- ③他の薬剤・洗浄剤等とは混ぜない。
- ④他の容器に移し替える場合は、専用のプラスチック容器にその商品名、
使用方法、注意事項を明記した上で使用する。
- ⑤用途以外には使用しない。
- ⑥アルミニウム、銅、真チユウ、亜鉛、錫などの金属面および塗装面には使用しない。
- ⑦作業後、使用した用具を洗う。

接触回避:

情報なし

保管

安全な保管条件:

極端に高温または低温の場所、直射日光の当たる場所には保管しない。

小児や認知症の方の手の届くところに置かない。

倒れたり、こぼれたりすることのないような場所に保管する。

安全な容器包装材料:

専用のプラスチック容器を使用する。

8.ばく露防止措置及び保護措置

許容濃度等:設定されていない。

設備対策:情報なし

保護具:必ず保護メガネおよび炊事用ゴム手袋を着用する。

9.物理的及び化学的性質

物理状態:液体

色:無色～微黄色、透明

臭い:原料臭

沸点又は初留点及び沸騰範囲:情報なし

可燃性:情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:情報なし

引火点:情報なし

自然発火点:情報なし

分解温度:情報なし

pH:(10倍希釈液) 12.0～13.5

(原液) 13.5以上

動粘性率:情報なし

蒸気圧:情報なし

密度及び/又は相対密度:1.06(20℃)

相対ガス密度:情報なし

粒子特性:情報なし

10.安定性及び反応性

反応性:常温においては安定である。

化学的安定性:常温においては安定である。

危険有害性反応可能性:情報なし

避けるべき条件:情報なし

混蝕危険物質:情報なし

危険有害な分解生成物:情報なし

11.有害性情報

急性毒性:分類できない

皮膚腐食性/刺激性:区分2(皮膚刺激)

眼に対する重篤な損傷/刺激性:区分1(重篤な眼の損傷)

呼吸器感作性又は皮膚感作性:区分に該当しない

生殖細胞変異原性:区分に該当しない

発がん性:分類できない

生殖毒性:区分に該当しない

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分2(臓器の障害のおそれ)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分に該当しない

誤えん有害性:分類できない

12.環境影響情報

生態毒性:情報なし

残留性・分解性:情報なし

生態蓄積性:情報なし

土壌中の移動性:情報なし

オゾン層への有害性:情報なし

ノニルフェノール系非イオン界面活性剤を含め、環境庁が内分泌攪乱物質(いわゆる環境ホルモン)と位置付けした 指定物質は一切配合していない。

13.廃棄上の注意

化学品, 汚染容器および包装の安全で, かつ, 環境上望ましい廃棄, またはリサイクルに関する情報「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと

残余廃棄物:酸(希塩酸、希硫酸など)で中和させた後多量の水で希釈して処理する。

あるいは、廃棄物業者に処理を依頼する。

使用済容器:容器は残留物の有無を確かめ、水洗い後、自治体のルールに従い、廃棄する。

14.輸送上の注意

「7. 取り扱い及び保管上の注意」の項を参照のこと

国際規制

国連分類:腐食性物質(クラス8、容器等級Ⅲ)

国連番号:1719

引火性液体に該当しない。

国内規制:

情報なし

運搬する場合には、

飛散、漏洩、流出、又は浸出を防ぐのに必要な措置を講じなければならない。

15.適用法令

労働安全衛生法(安衛法): 該当する

- ・表示・通知対象物質 および リスクアセスメント対象物(法第57条の3)
水酸化カリウム 4.9%含有 (別表第9の316)
- ・表示・通知対象物質 および リスクアセスメント対象物(法第57条の3)
ジエチレングリコールモノブチルエーテル 2.0%含有
(別表第9の224の3 ※但し、令和6年4月1日以降:別表第9の224の4)

化学物質管理促進法(PRTR法): 該当する

- ・第一種指定化学物質 管理番号:409
ホリ(オキシエチレン)トデシルエーテル硫酸エステルナトリウム 1.8%含有
- ・第一種指定化学物質 管理番号:627
ジエチレングリコールモノブチルエーテル 2.0%含有
- ・第一種指定化学物質 管理番号:681
2-(N-ドデシル-N,N-ジメチルアンモニオ)アセタート 2.0%含有

毒物及び劇物取締法: 該当しない

16.その他の情報

参考文献

GHS混合物判定ツール(経済産業省)

- ・本SDSはJIS Z 7253:2019に準拠しています。
 - ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
 - ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
 - ・注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
 - ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
-